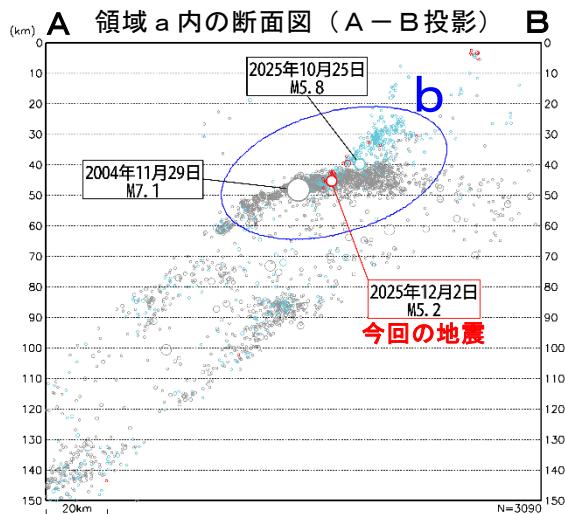
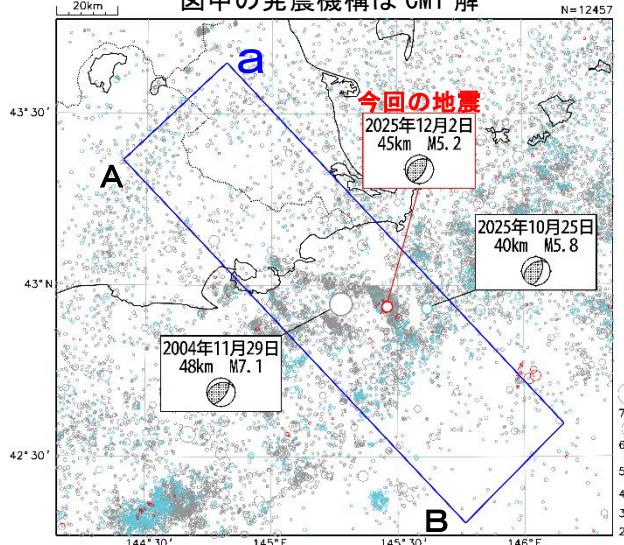


## 12月2日 釧路沖の地震

情報発表に用いた震央地名は〔根室半島南東沖〕である。

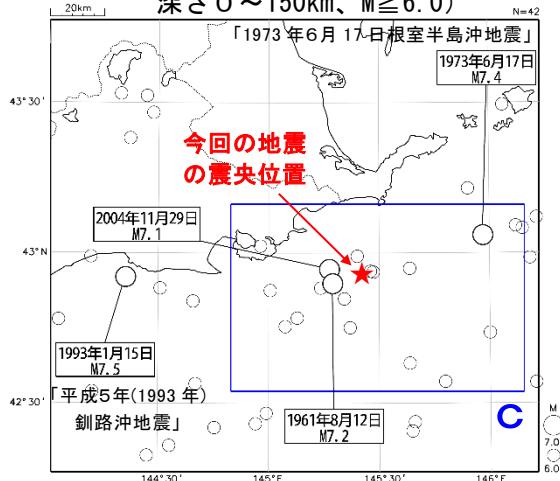
震央分布図

(2001年10月1日～2025年12月31日、  
深さ0～150km、M≥2.0)  
2020年9月以降に発生した地震を水色、  
2025年12月に発生した地震を赤色で表示  
図中の発震機構はCMT解



震央分布図

(1919年1月1日～2025年12月31日、  
深さ0～150km、M≥6.0)

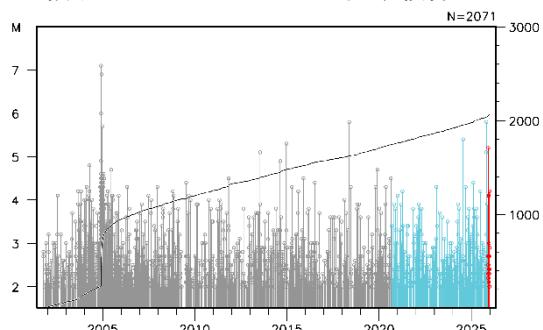


2025年12月2日19時03分に釧路沖の深さ45kmでM5.2の地震（最大震度4）が発生した。発震機構（CMT解）は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。この周辺では、2025年10月25日にM5.8の地震（最大震度5弱）が発生した。

2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M5.0以上の地震が時々発生している。2004年11月29日に発生したM7.1（最大震度5強）の地震では、負傷者52人、住家被害5棟などの被害が生じ、根室市花咲で最大の高さ12cmの津波を観測するなど、北海道太平洋沿岸東部で小さな津波を観測した（被害は総務省消防庁による）。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M7.0以上の地震が3回発生している。「1973年6月17日根室半島沖地震」（M7.4、最大震度5）では、根室・釧路地方で負傷者26人などの被害が生じ、根室市花咲で最大の高さ280cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測するなど、北海道から四国地方にかけての太平洋沿岸で津波を観測した（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図

